

2021年度版 株式会社杉本組 環境活動レポート

はじめに

株式会社杉本組は、2004年のエコ事業所認定取得以来、継続して、環境保全のための活動に取り組んで参りました。この17年間、弊社の中でも、職員の入れ替わりや事業体制の変化が生じ、なにより、企業を取り巻く社会環境そのものも大きく変化しました。私たちは、今ここに改めて、これまでの活動を振り返り、現状と、これからの目指すべき姿について問い直します。

環境に関する経営理念・方針

私たちは建設会社として、その事業活動を通じ、地球環境の保全、また、持続可能な社会の実現に向けて、地域の中で求められる役割を果たして参ります。

日々変化する時代の流れに柔軟に対応しながら、新しい価値観を共有する人々と共に、その先にある「世界」「未来」を見据え、課題の認識と解決のために行動します。

事業所の概要

事業所名	株式会社杉本組	資本金	4億5千万円
所在地	名古屋市昭和区前山町1-63	敷地面積	208.29m ²
事業の内容	建設業 舗装工事業	1964年	創業
従業員数	14名	1970年	株式会社杉本組に組織変更
担当者	後藤崇太	1995年	常滑支店開設
環境責任者	齋藤 貢	2001年	常滑支店閉鎖、長久手支店開設
		2017年	長久手支店移転

環境に配慮した取り組みの状況

1 目標と実績

(1)目標

温室効果ガス排出量:前年度比 5%削減

(2)実績

※コロナ禍により昨年度の排出量が例外的に増加(後述)したことから、実績は 30-元年度で評価

	平成 30 年度	令和元年度	削減率
温室効果ガス排出量	49.0	44.9	8.3%

2 具体的な取り組み内容

(1)電気使用量の削減

- ・不要照明、機器のスイッチオフ徹底
- ・人感センサー設置、蛍光灯の間引き

(2)ガソリン使用量の削減

- ・現場移動時の相乗り励行
- ・自転車、公共交通による通勤推奨

(3)軽油使用量の削減

- ・アイドリングストップ徹底

3 目標の達成状況

※コロナ禍により昨年度の排出量が例外的に増加(後述)したことから、達成状況は 30-元年度で評価

平成 30 年度に対し、令和元年度は 8.3%削減できている。

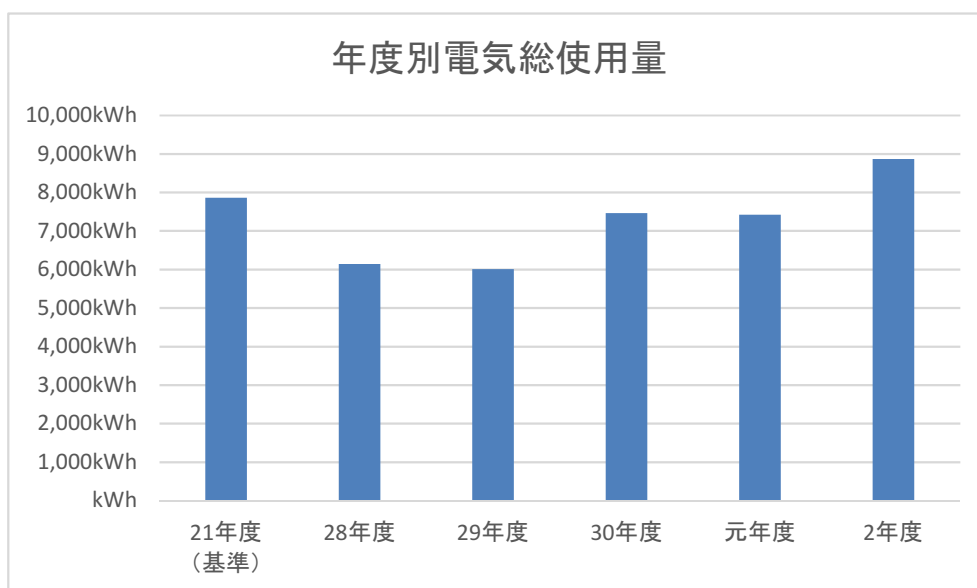
具体的な取り組み内容		成果	評価
電気使用量の削減	不要照明・機器のスイッチオフ徹底	使わないスイッチをオフにする習慣が身についた。	○
	人感センサー設置、蛍光灯の間引き	設備面での工夫を継続し、電気使用量の削減に繋がった。	○
ガソリン使用量の削減	現場移動時の相乗り励行	同一現場への移動は、乗り合わせることで、過剰な車両使用を控えた。	◎
	自転車・公共交通による通勤推奨	職員 14 名中、5 名が自転車・公共交通で通勤するようになった。	◎
軽油使用量の削減	アイドリングストップ徹底	休憩時や作業の一時停止時のアイドリングストップを励行した。	◎

エネルギー使用の削減率

	平成30年度	令和元年度	削減率
電気	7,465Kw	7422Kw	1%
ガソリン	13,745ℓ	13,188ℓ	4%

月別電気使用量

	21年度 (基準)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	平均
4月	699kWh	445kWh	559kWh	650kWh	566kWh	635kWh	571kWh
5月	509kWh	373kWh	408kWh	504kWh	506kWh	600kWh	478kWh
6月	585kWh	356kWh	378kWh	481kWh	480kWh	583kWh	456kWh
7月	727kWh	828kWh	536kWh	752kWh	551kWh	681kWh	670kWh
8月	755kWh	813kWh	639kWh	1,052kWh	877kWh	1,179kWh	912kWh
9月	653kWh	668kWh	579kWh	767kWh	714kWh	1,058kWh	757kWh
10月	594kWh	477kWh	451kWh	531kWh	598kWh	668kWh	545kWh
11月	586kWh	420kWh	451kWh	553kWh	707kWh	560kWh	538kWh
12月	677kWh	482kWh	468kWh	594kWh	606kWh	697kWh	569kWh
1月	682kWh	427kWh	535kWh	502kWh	661kWh	584kWh	542kWh
2月	644kWh	427kWh	549kWh	581kWh	581kWh	764kWh	580kWh
3月	747kWh	423kWh	454kWh	498kWh	575kWh	858kWh	562kWh
合計	7,858kWh	6,139kWh	6,007kWh	7,465kWh	7,422kWh	8,867kWh	



過去5年間平均使用量	7,180kWh
対基準年度比	-8.6%

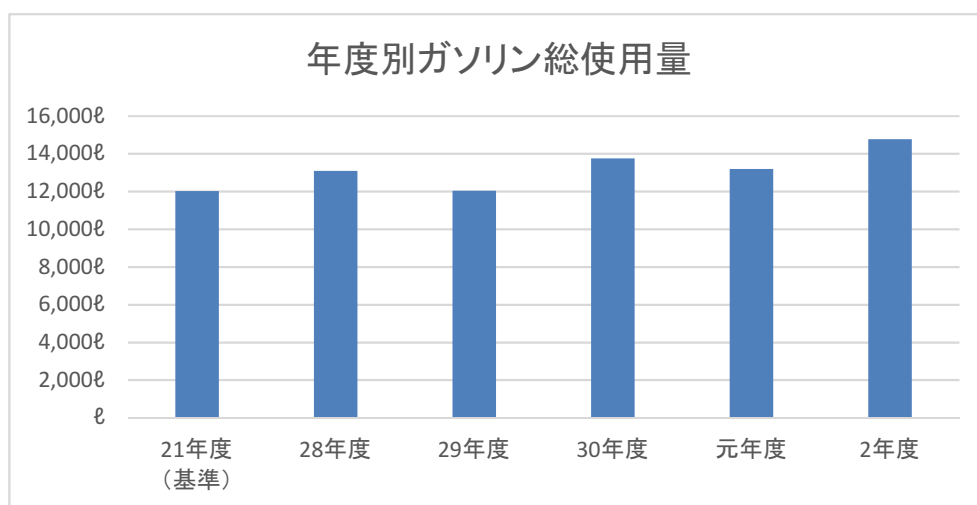
月別ガソリン使用量

	21年度 (基準)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	平均
4月	912ℓ	1,190ℓ	1,369ℓ	1,015ℓ	779ℓ	896ℓ	1,050ℓ
5月	706ℓ	1,046ℓ	1,042ℓ	1,071ℓ	743ℓ	1,118ℓ	1,004ℓ
6月	769ℓ	755ℓ	731ℓ	1,302ℓ	1,004ℓ	1,196ℓ	998ℓ
7月	877ℓ	861ℓ	646ℓ	1,353ℓ	1,253ℓ	1,539ℓ	1,130ℓ
8月	1,185ℓ	1,274ℓ	990ℓ	1,317ℓ	1,273ℓ	1,230ℓ	1,217ℓ
9月	1,052ℓ	1,229ℓ	1,052ℓ	1,298ℓ	1,244ℓ	1,468ℓ	1,258ℓ
10月	1,074ℓ	1,054ℓ	917ℓ	1,080ℓ	1,225ℓ	1,425ℓ	1,140ℓ
11月	1,121ℓ	1,194ℓ	820ℓ	1,114ℓ	1,138ℓ	1,285ℓ	1,110ℓ
12月	1,038ℓ	1,208ℓ	968ℓ	1,017ℓ	1,214ℓ	1,398ℓ	1,161ℓ
1月	1,117ℓ	1,123ℓ	1,154ℓ	893ℓ	1,037ℓ	1,092ℓ	1,060ℓ
2月	1,236ℓ	1,177ℓ	1,200ℓ	1,200ℓ	1,197ℓ	960ℓ	1,147ℓ
3月	937ℓ	982ℓ	1,151ℓ	1,085ℓ	1,081ℓ	1,162ℓ	1,092ℓ
合計	12,024ℓ	13,093ℓ	12,040ℓ	13,745ℓ	13,188ℓ	14,769ℓ	

参考

社用車使用人数	11人	13人	13人	14人
一人あたり使用量	1,095ℓ	1,057ℓ	1,014ℓ	1,055ℓ

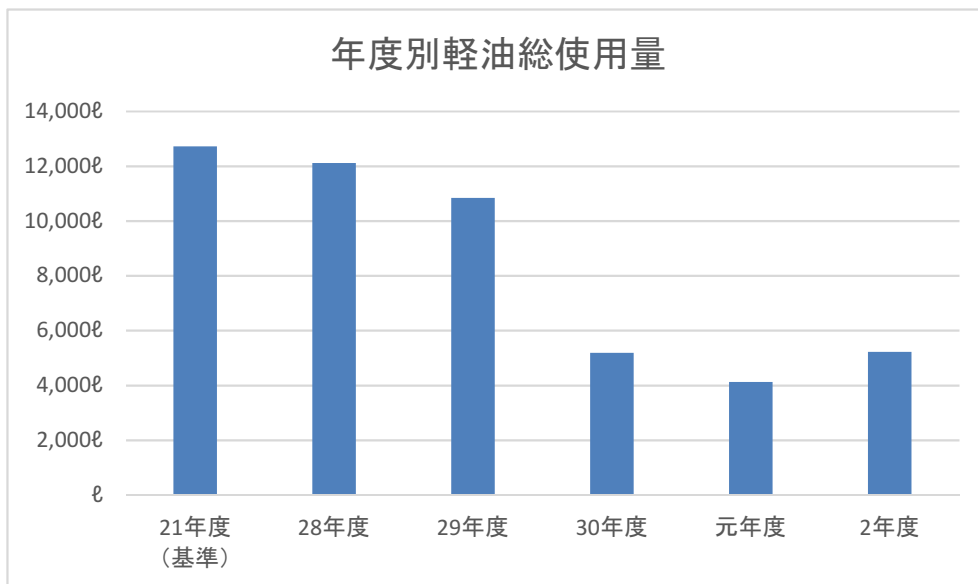
※28年度以前は社用車使用人数データなし



過去5年間平均使用量	13,367kWh	対基準年度比	11.2%
------------	-----------	--------	-------

軽油使用量

	21年度 (基準)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	平均
4月	800ℓ	1,020ℓ	978ℓ	894ℓ	119ℓ	428ℓ	688ℓ
5月	1,400ℓ	166ℓ	745ℓ	440ℓ	0ℓ	509ℓ	465ℓ
6月	1,000ℓ	1,514ℓ	986ℓ	435ℓ	457ℓ	369ℓ	752ℓ
7月	800ℓ	877ℓ	450ℓ	437ℓ	468ℓ	544ℓ	555ℓ
8月	1,200ℓ	961ℓ	1,056ℓ	397ℓ	464ℓ	0ℓ	720ℓ
9月	1,000ℓ	292ℓ	1,096ℓ	438ℓ	396ℓ	467ℓ	538ℓ
10月	800ℓ	1,286ℓ	792ℓ	491ℓ	419ℓ	463ℓ	690ℓ
11月	1,350ℓ	901ℓ	1,174ℓ	479ℓ	118ℓ	555ℓ	645ℓ
12月	800ℓ	494ℓ	818ℓ	609ℓ	119ℓ	468ℓ	502ℓ
1月	800ℓ	1,423ℓ	712ℓ	0ℓ	599ℓ	478ℓ	803ℓ
2月	1,470ℓ	1,731ℓ	1,072ℓ	447ℓ	585ℓ	511ℓ	869ℓ
3月	1,300ℓ	1,447ℓ	957ℓ	117ℓ	377ℓ	430ℓ	666ℓ
合計	12,720ℓ	12,112ℓ	10,836ℓ	5,184ℓ	4,121ℓ	5,222ℓ	



過去5年間平均使用量	7,495kWh
対基準年度比	-41.1%

4 取り組みの改善策

具体的な取り組み内容	取り組みの改善策
電気使用量の削減	固定的な意識にとらわれず、気候・体調に応じた、適切な服装選択による空調の使用
ガソリン使用量の削減	社有車管理表に燃費計算欄を設け、ドライバーひとり一人のエコドライブ意識の向上

5 新たな目標の設定

(1)温室効果ガス排出量:直近 5 年度平均の対基準年度比 10%減

(2)電気・ガソリン使用量を可視化して、職員に周知

この 4～5年の間、事業体制の変化に伴い、職員の数が増えたことで、電気やガソリンの総使用量は増加傾向にあります。ただし、ひとり当たりの排出量は横ばいを維持しており、保有していた一部重機の売却等で軽油の使用量が減ったことで、全体の Co2 排出量は減少しました。

一方、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けるための行動(換気しながらの空調使用やオフィスの分割、移動の個別分散化など)を優先したことから、例年になく、電気やガソリンの使用量が増加しました。令和 3 年度以降は、世間の動向を注視しつつ、感染症対策とエコの取り組みを両立する方法を探って参ります。

当該期間中は、職員の入れ替わりが多かったこともあり、必ずしもエコに対する取り組みが、職員全体に行きわたっていなかったという反省を踏まえつつ、改めて、初心に立ち返り、上記の環境に対する取り組みについて、指導・行動を徹底します。

また、エコや省エネ、節電に対する「常識」は時代と共に変化していきます。十年前と今とでは、主流や方法論が大きく変わることもあります。社会の潮流を敏感に見極めつつ、会社のスタイルと馴染む方法を探し続けていくことが、無理なく、しかし、確実に、Co2 を削減するための一歩だと考えます。株式会社杉本組は今後、これまでの活動を継続しつつ、新たな試みにも果敢に挑戦していく所存です。

お問い合わせ

株式会社杉本組

住所:名古屋市昭和区前山町一丁目63番地

電話:052-763-4832 担当: 後藤

E-mail:eigyoubu_sugimoto@yahoo.co.jp